

＝ 普及 情 報 ＝

No. 2

平成31年4月25日

東部農林振興センター 松江農業普及部

標 題

くにびき稲作総代会で美味しまね認証の推進、上位認証をPRしました

(ダイジェスト)

4月24日（水）に開催されたくにびき稲作協議会総代会の研修会において、美味しまね認証、上位認証について、生産者へ情報提供しました。今後も関係機関と協力して、普及部としても美味しまね認証の推進に取り組みます。

4月24日にくにびき稲作協議会（会長 三島正氏、会員96名）の総代会が開催され、松江市内稲作農家20名の参加がありました。

総代会の前に研修会として、JA全農による農作業における安全講習会、水稻資材の紹介があり、普及部からは「美味しまね認証について」と題し、美味しまねゴールドがスタートしたこと、GAPについて、県全体の認証取得状況及び松江市内の認証取得者の紹介、申請に必要な書類、取得することによる効果等の話をしました。

県内全体での美味しまね認証の取り組み数は、218品目・436経営体、うち穀物の米では33品目・86経営体（平成31年4月1日現在）。松江市では、青果物の野菜・果物での認証取得があり、米では平成29年3月に認証取得されたライスフィールド有限会社が上位認証を申請され、平成31年4月23日に現地審査が行われたところです。平成30年10月に新たにゆとりの里下古志ファーム13が認証取得されました。また、カンドーフาร์ม株式会社は平成30年2月に、県内3件目のJGAP認証を取得されました。（認証品目：米、大麦、小麦）

生産者からの質問や取得希望は、残念ながら今年はありませんでした。

当普及部では今後もいろいろな場で美味しまね認証について話し、生産者から取得希望があれば、農政部、市、JA等関係機関と連携し、積極的に推進していく考えです。

